

都立高校生海外ボランティア体験

目的・ねらい

- ・都立高校生の国際貢献・国際協力、地域貢献・地域協力の理解を深め、多様な価値観の中で生きる寛容の精神を醸成する。
- ・オリンピック・パラリンピック教育における「ボランティアマインド」「豊かな国際感覚」を身に付けるとともに、東京2020大会の目標の一つとして掲げるSDGs達成への貢献及び共生社会の実現を担う人材を育成する。

取組・活動内容

①実施時期

令和元年8月26日～8月30日

②実施規模

ボランティア推進校17名の生徒

③取組・活動内容

- ・ベトナム社会主義共和国ホーチミン市において、主に以下の取組を行った。
 - ① JICA関連施設におけるリハビリ補助のボランティア体験
 - ② 障害者施設におけるボッチャ交流
 - ③ 児童養護施設における日本の遊びを伝えるボランティア
 - ④ 現地の大学生とボランティアに関する討論

本取組・活動の成果

- 参加した生徒からは「言葉が通じなくても心が通じることが分かった。将来は海外で活躍できる人になりたい。」「ベトナムの活気を日本に持ち帰り、世界とつながりながら日本を支えられる人材になりたい。」「インターネットの情報だけがすべてではなく、体験して分かったことが沢山あった。これからも、体験することを大切にしていく。」といった感想があった。
- 本取組を通して、「新たなボランティアの価値観の創出」「ダイバーシティ、社会性・規範意識の習得」「課題解決に向けて考え・行動する力の習得」を行うことができた。
- また、参加生徒がボランティア・サミットにおいて、全都立高校等に本体験を報告し、成果を伝え、効果が広く波及した。

活動の様子

